

東北大学史料館 新公開資料速報展 (第7回)

2009.6 東北大学史料館

戦中・戦後の旧制二高校長と その周辺

のぐちあきら
- 野口明文書より -



野口明(1895~1979)は、旧制第二高等学校第10代校長、新制お茶の水女子大学初代学長などをつとめた教育者です。大正5年(1916)に二高を卒業。東大法科卒業後文部省、内務省、宮内省での官僚経験を経て、1943年(昭和18)に阿刀田令造の後任として母校第二高等学校校長に就任しました。その任期中は戦争末期から敗戦後の学制改革に至る時期で、戦時体制への対応、空襲被災と戦後復興、新学制への移行といった課題に対処し、1949年新学制への移行準備の完了を節目に二高を退任しました。官僚・教育者として活躍する一方で絵画を愛する趣味人としても知られ、多くの作品を残しています。

今回新たに公開した資料は、野口のもとに知人から送られてきた書簡です。差出者には瀧川亀太郎(二高教授) 渋沢敬三(日銀総裁・大蔵大臣、民俗学者：二高卒) 住谷悦治(同志社大学教授：二高卒) 武藤完雄(東北大学教授：二高卒) 三宅剛一(東北帝大法文学部教授) 河野與一(東北帝国大学教授)といった二高・東北帝大関係者のほか、薄田美朝(内務官僚、第51代警視總監：二高卒) 藤井種太郎(宮中顧問官) 河井彌八(内務官僚・貴族院議員) 唐沢俊樹(内務官僚) 松平康昌(内大臣秘書官長・貴族院議員) 本多猶一郎(侍従) 落合太郎(第三高等学校校長)といった名前を見ることができ、官僚時代や二高校長としての人脈が反映されおり、なかでも戦争末期から敗戦直後の時期のものは、激動の時代における、当時のリーダーたちの苦闘を垣間見させてくれます。



< 展示中の資料 >

- 瀧川亀太郎書簡(旧制二高教授、漢文学者)
...昭和18年11月1日 二高校長就任祝辞
- 河井彌八書簡(昭和天皇の元側近、貴族院議員)
...昭和20年12月12日 敗戦後の宮中や社会状況
- 渋沢敬三書簡(日銀総裁・大蔵大臣、民俗学者)
...昭和21年10月5日 近況、二高での講演の件
- 落合太郎書簡(第三高等学校校長)
...昭和23年12月7日 旧制高校廃止をめぐる
情報交換